

| | | | |
|------|-------------------------------|------------|-----|
| 要望項目 | 国道280号(蓬田～蟹田)バイパス整備促進について(継続) | | |
| 要望先 | 国 | 国土交通省(道路局) | |
| | 県 | 県土整備部(道路課) | |
| | その他 | | |
| 関係法令 | 道路法 | 事業主体 | 青森県 |

| 要 望 事 項 の 内 容 |
|---|
| <p>一般国道280号は、青森市から陸奥湾沿いに北上し、津軽半島最北端の外ヶ浜町三厩地区に至る半島循環道路で地域住民の生活路線となっていますが、冬期間は、降雪による交通渋滞が慢性化するなど、日常生活に支障をきたしております。</p> <p>また、東青地区の観光や、産業経済の振興並びに文化の向上にとって最も重要な路線であり、その機能強化のために整備促進は緊急の課題となっております。</p> <p>現在、蟹田Ⅱ期工区残工事区間L=0.78kmについては、用地取得が進められておりますが、早期完成を望む声は地元住民の切実なものであります。</p> <p>青森市と津軽半島地域の連絡機能の向上及び交流の促進を図るため、次の事項について特段の御配慮をいただきたい。</p> <p>1. 国道280号(蓬田～蟹田)バイパスの建設及び整備促進</p> |

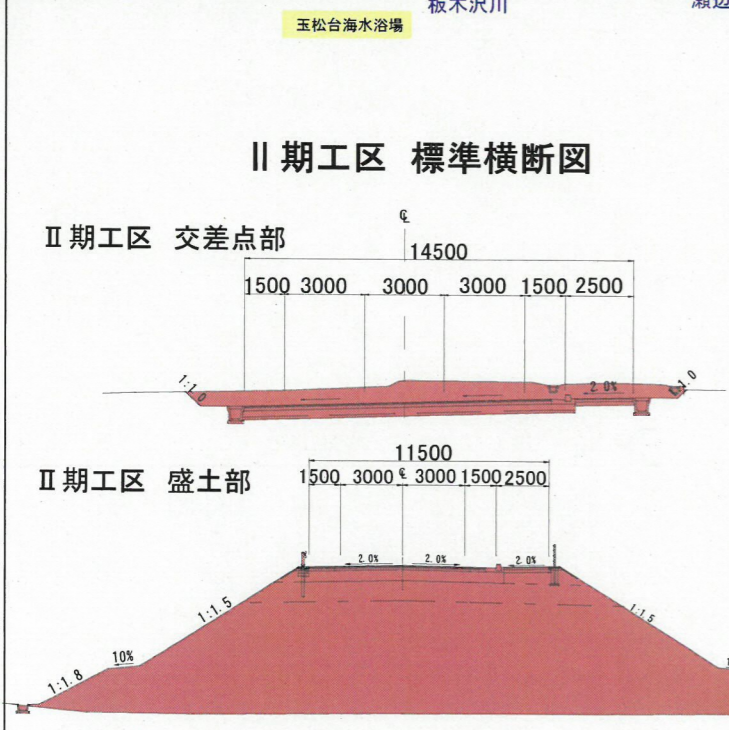
| 現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項 |
|--|
| 油川 ～ 内真部 L=8.37km 平成5年開通 |
| 内真部 ～ 蓬田 L=10.20km 平成14年開通 |
| 蓬田 ～ 蟹田 バイパスⅠ期工区 L=5.12km 平成22年開通 |
| 蓬田 ～ 蟹田 バイパスⅡ期工区1工区 L=0.90km 平成29年開通 |
| 蓬田 ～ 蟹田 バイパスⅡ期工区2工区 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 道路概略設計 ・平成27年度 事業説明会、地形測量、道路予備設計 ・平成28年度 路線測量、道路詳細設計 ・平成29年度 事業説明会、用地測量、用地買収 ・平成30年度 用地買収 ・令和元年度 用地買収、遺跡調査 ・令和3年度～ 用地買収、道路新設着手 |

| | |
|-------|----------|
| 担当部署名 | 外ヶ浜町 建設課 |
|-------|----------|

国道280号(蓬田～蟹田)バイパス整備状況



(工事起点) 蓬田村大字瀬辺地 国道280号 蓬田～蟹田バイパス L=6.80km (工事終点) 外ヶ浜町 字蟹田中師宮本



- ### 事業概要
- 事業名: 国道280号蓬田～蟹田バイパス
 - 事業区間: 東津軽郡蓬田村大字瀬辺地から外ヶ浜町字中師宮本まで
 - 事業延長: L=6,800m
 - 幅員: [I期工区]車道部:W=9.5m [II期工区]車道部:W=9.0m、歩道部:W=2.5m(一部両側)
 - 縦断勾配: 4.0%以下
 - 曲線半径: Rmin=1,500m
 - 現況交通量: 5,400台/日

現道の状況

歩道未設置区間

冬期の通学路

冬期はすれ違いが困難

災害時リダンダンシー確保必要

開通済み工区の利用状況

油川～内真部間
L=8.37km (S53～H5)

内真部～蓬田間
L=10.20km (H6～H14)

蓬田～蟹田BP I期
L=5.12km (H15～H22)

| | | | |
|------|-----------------------------------|----------------------------|----------|
| 要望項目 | 世界遺産（北海道・北東北の縄文遺跡群）の保存・活用について（継続） | | |
| 要望先 | 国 | 文部科学省（文化庁） | |
| | 県 | 教育庁（文化財保護課）、観光国際戦略局（観光企画課） | |
| | その他 | | |
| 関係法令 | | 事業主体 | 青森県、外ヶ浜町 |

| 要 望 事 項 の 内 容 |
|--|
| <p>北海道・北東北の縄文遺跡群は、1 万年以上にわたって採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える文化遺産です。北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する 17 の遺跡で構成されています。その構成資産のひとつである当町の大平山元遺跡は、縄文時代開始直後の遺跡であり、旧石器時代の特徴をもつ石器群とともに、土器と石鏃が出土しています。その土器に付着した炭化物の年代測定の結果、15,000 年以上前のものであることが明らかにされており、移動に適さない土器の出現は定住の開始を示し、遊動から定住へと生活が大きく変化したことを知る上で重要な遺跡です。</p> <p>令和 3 年 7 月末、世界遺産委員会が開催、世界遺産一覧表に記載され、正式に世界文化遺産に決まりました。コロナ禍が落ち着きを見せており、たくさんの来訪者が見込まれ、経済効果等が期待されることは、これまでの世界遺産地域が物語っています。これまでも整備事業などの準備を進めているところですが、史跡大平山元遺跡の活用やPRを推進するために、次の事項について特段のご配慮をお願いしたい。</p> <p>1. 世界遺産を中心とした誘客促進のための宣伝強化</p> |

| 現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項 | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 平成 19 年 5 月 | 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進の共同提案に参加 |
| 平成 21 年 1 月 | 暫定一覧表に記載 |
| 平成 25 年 3 月 | 史跡指定 |
| 令和 元年 7 月 | 文化審議会世界遺産部会にてユネスコ推薦候補に選定 |
| 令和 元年 12 月 | 関係省庁連絡会議にてユネスコへの推薦を決定、閣議了解、推薦書を文化庁へ提出 |
| 令和 2 年 1 月 | ユネスコへ推薦書を提出、受理 |
| 令和 2 年 9 月 | イコモスの現地調査 |
| 令和 3 年 5 月 | イコモス勧告 |
| 令和 3 年 7 月 | 世界遺産委員会にて記載 |
| 令和 5 年 3 月 | 遺跡現地整備工事完成 |
| 担当部署名 | 外ヶ浜町 教育委員会社会教育課世界遺産対策室 |

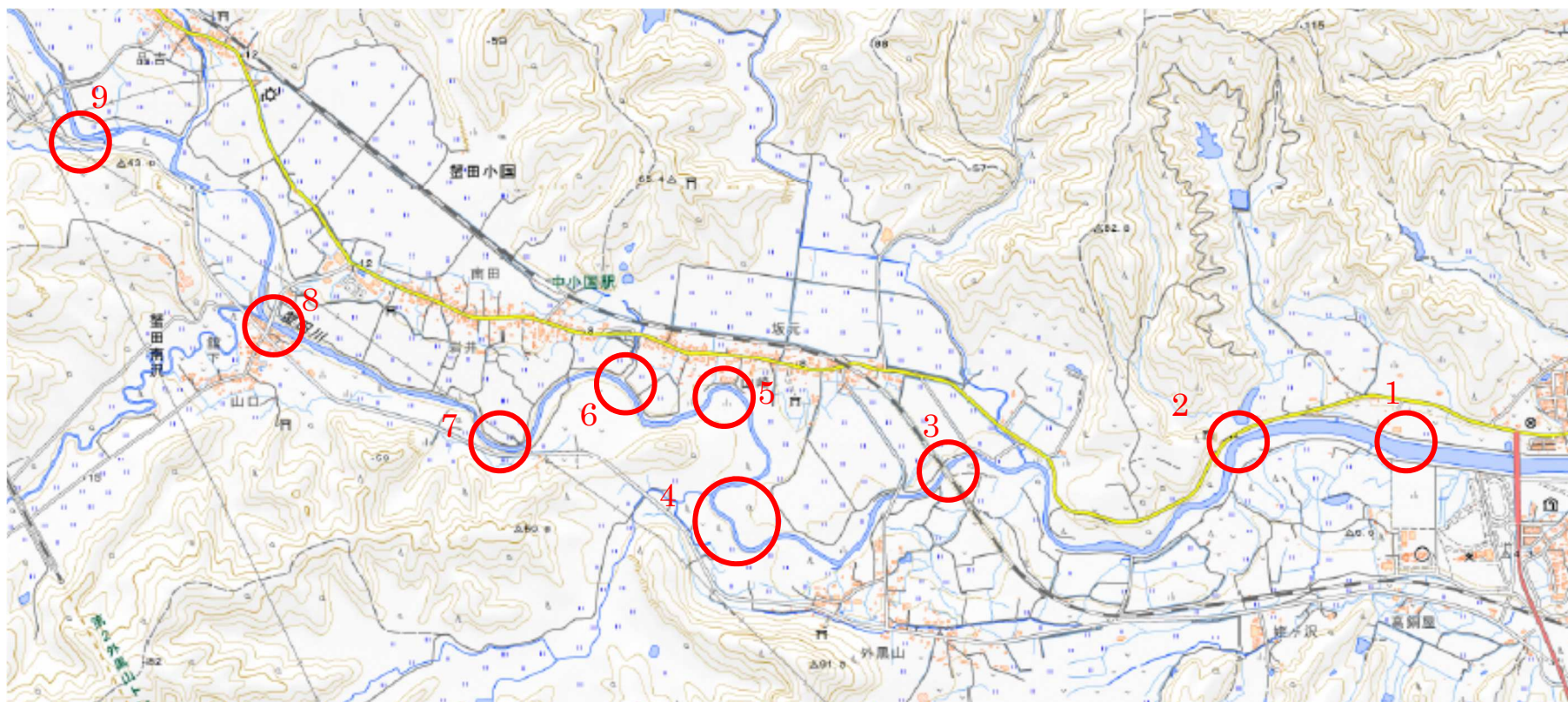
| | | | |
|------|------------------|------------------|-----|
| 要望項目 | 蟹田川の河川整備について（継続） | | |
| 要望先 | 国 | 国土交通省（水管理・国土保全局） | |
| | 県 | 県土整備部（河川砂防課） | |
| | その他 | | |
| 関係法令 | 河川法 | 事業主体 | 青森県 |

| 要 望 事 項 の 内 容 |
|--|
| <p>蟹田川においては、令和4年8月の大雨の他、過去にも大雨の時は何度も氾濫を繰り返し、農地の冠水や南沢地区で床下浸水する等、災害による被害が多い河川となっております。</p> <p>令和4年8月の大雨の際は、総合流域防災事業として、伐木除根工、河床掘削工を継続して実施して頂いている効果により、最小限の被害に抑えられたと認識していますので、他箇所についても引き続き、災害防止のため河川断面確保等による適正な維持管理をして頂くよう要望いたします。</p> <p>1. 蟹田川の伐木除根及び河床の掘削</p> |

| 現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項 | |
|-----------------------------|----------|
| 平成28年度 要望箇所③ 掘削工 | |
| 平成29年度 要望箇所⑥ 掘削工 | |
| 平成30年度 要望箇所⑧ 掘削工・伐木除根工 | |
| 令和元年度 要望箇所⑧ 掘削工・伐木除根工 | |
| 令和2年度 要望箇所⑨ 掘削工 | |
| 令和3年度 要望箇所① 掘削工、伐採除根工 | |
| 令和4年度 要望箇所④ 掘削工、伐採除根工 | |
| 令和5年度 要望箇所①② 掘削工、伐採除根工 | |
| 担当部署名 | 外ヶ浜町 建設課 |

蟹田川の維持管理については以前より定期的に施工していただき、河川の安全は確保されてきました。

しかし、令和4年大雨災害により、再び土砂の堆積が見られ、掘削が必要な状況となっております。よって、下記要望箇所の伐木除根、河床整理等の継続的な維持管理を必要としています。



蟹田川の河川整備について

| | | | |
|------|-------------------------------------|------------|-----|
| 要望項目 | 主要地方道今別蟹田線（県道 14 号）小国峠の道路整備について（継続） | | |
| 要望先 | 国 | | |
| | 県 | 県土整備部（道路課） | |
| | その他 | | |
| 関係法令 | | 事業主体 | 青森県 |

| 要 望 事 項 の 内 容 |
|---|
| <p>主要地方道今別蟹田線は、今別町及び外ヶ浜町三厩地区から青森市、五所川原市へ通じる唯一の道路として町民の命を繋ぐ重要な路線になっています。</p> <p>しかし、当該路線は、急勾配の上にカーブが多く、特に冬季積雪期間は、一部区間で散水消雪施設を整備しているものの、その他の区間で路面凍結や積雪による車両事故が多発しており、地域住民は不安を感じているところです。</p> <p>北海道新幹線奥津軽いまべつ駅の開業後は、物流・人流・観光・防災を支える最重要路線としての役割が更に増していることから、住民の命を守る、事故のない安全な道路として、平坦化に向けた整備について要望いたします。</p> <p>1. 主要地方道今別蟹田線（県道 14 号）の平坦化に向けた道路整備について</p> |

| 現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項 | |
|---|----------|
| <p>令和 4 年 1 月 29 日、今別町長と外ヶ浜町長の連名で青森県県土整備部長へ要望書を提出している。</p> <p>令和 4 年度は、道路課及び関係町村等と連携をとりながら 5/31、12/13、3/23 の 3 回、勉強会を開催し、事故の状況確認や今後の平坦化整備に向けた課題や整備手法、現道の整備後の取扱等について意見交換（事業の検討）を継続していくことを確認した。</p> <p>令和 5 年度は、路線の概略設計を実施する予定となっている。</p> | |
| 担当部署名 | 外ヶ浜町 建設課 |

主要地方道今別蟹田線（県道14号）小国峠区間 位置図

